



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年10月31日

上場会社名 新光商事株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8141 URL <http://www.shinko-sj.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小川 達哉
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 (氏名) 一色 修志 (TEL) 03-6361-8111
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 2022年12月9日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同期四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|--------|------|-------|-------|-------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年3月期第2四半期 | 89,449 | 52.7 | 3,174 | 180.2 | 3,408 | 197.5 | 2,266 | 183.2 |
| 2022年3月期第2四半期 | 58,590 | 33.4 | 1,132 | 270.5 | 1,145 | 231.2 | 800 | 325.6 |

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 4,516百万円(491.2%) 2022年3月期第2四半期 764百万円(385.7%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| 2023年3月期第2四半期 | 円 銭 64.93 | 円 銭 — |
| 2022年3月期第2四半期 | 21.56 | — |

1株当たり四半期純利益の算定に使用する期中平均株式数は、自己名義所有株式数を控除する他、役員向け株式給付信託が保有する自己株式を、前第2四半期連結累計期間520,014株、当第2四半期連結累計期間510,300株および従業員向け株式給付信託が保有する自己株式を、前第2四半期連結累計期間362,129株、当第2四半期連結累計期間344,900株、控除して算定しております。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|---------------|---------------|-----------|
| 2023年3月期第2四半期 | 百万円 99,095 | 百万円 52,536 | % 52.4 |
| 2022年3月期 | 88,951 | 51,945 | 57.8 |

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 51,901百万円 2022年3月期 51,369百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|----------|--------------|----------|--------------|--------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| 2022年3月期 | 円 銭 — | 円 銭 23.00 | 円 銭 — | 円 銭 36.50 | 円 銭 59.50 |
| 2023年3月期 | — | 29.00 | | | |
| 2023年3月期(予想) | | | — | 29.00 | 58.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|---------|------|-------|------|-------|------|-----------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 170,000 | 25.7 | 5,600 | 34.5 | 5,600 | 36.5 | 3,900 | 38.2 | 111.73 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 - 社(社名) 、除外 - 社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注意事項」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2023年3月期2Q | 38,010,566株 | 2022年3月期 | 38,010,566株 |
| ② 期末自己株式数 | 2023年3月期2Q | 4,283,310株 | 2022年3月期 | 1,552,612株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 2023年3月期2Q | 34,906,813株 | 2022年3月期2Q | 37,124,265株 |

1. 期末自己株式には、役員向け株式給付信託が保有する当社株式数が、2022年3月期510,300株、2023年3月期2Q510,300株、従業員向け株式給付信託が保有する当社株式数が、2022年3月期347,600株、2023年3月期2Q341,300株含まれております。
2. 期中平均株式数の計算において控除する自己株式数には、役員向け株式給付信託が保有する当社株式が、2022年3月期2Q520,014株、2023年3月期2Q510,300株、従業員向け株式給付信託が保有する当社株式数が、2022年3月期2Q362,129株、2023年3月期2Q344,900株含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 10 |
| (当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) | 10 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 10 |
| (会計方針の変更) | 10 |
| (会計上の見積りの変更) | 10 |
| (セグメント情報) | 11 |
| (重要な後発事象) | 12 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の抑制と経済活動の両立が進む中で、ウクライナ情勢の長期化、円安の進行、物価上昇等、引続き先行き不透明感が強い状況となっています。

エレクトロニクス業界におきましては、タブレット端末・スマートフォン等一部製品の買い替え需要の一服感はあるものの、全体的には回復基調で推移しています。旺盛な需要による世界的な半導体製品や電子部品の需給逼迫は依然として続いており長期化しています。

このような状況のもと、当社グループ（当社及び連結子会社）は、主要分野である産業機器関連・自動車電装機器関連・OA機器関連いずれも前年同期比を上回る実績となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高894億49百万円（前年同期比52.7%増）、営業利益31億74百万円（同180.2%増）、経常利益34億8百万円（同197.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益22億66百万円（同183.2%増）となりました。セグメントの業績は、次のとおりであります。

電子部品事業

自動車電装機器関連・産業機器関連・OA機器関連が好調に推移いたしました。

以上の結果、半導体の売上高は522億54百万円（前年同期比60.6%増）、電子部品の売上高は278億32百万円（前年同期比49.3%増）、電子部品事業全体の売上高は800億87百万円（前年同期比56.5%増）となりました。

アセンブリ事業

産業機器関連が好調に推移いたしました。

以上の結果、アセンブリ製品の売上高は74億16百万円（前年同期比25.8%増）となりました。

その他の事業

産業機器関連・自動車電装機器関連が好調に推移いたしました。

以上の結果、電子機器及びマイクロコンピュータのソフトウェア受託開発の売上高は19億45百万円（前年同期比28.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、990億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ101億44百万円増加いたしました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産が66億10百万円、商品及び製品が38億72百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、465億59百万円となり、前連結会計年度末に比べ95億53百万円増加いたしました。これは主に、短期借入金72億26百万円、未払金が18億96百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は525億36百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億91百万円増加いたしました。これは主に、為替換算調整勘定が21億49百万円、利益剰余金が9億15百万円増加したものの、自己株式が25億63百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は52.4%（前連結会計年度末は57.8%）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、税金等調整前四半期純利益が34億46百万円(前期比192.4%増)となり、売上債権の増加、棚卸資産の増加、未収入金の増加、短期借入金の返済、自己株式の取得による支出等があったものの、短期借入れによる収入等があったことにより、前連結会計年度末に比べ1億23百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末においては107億2百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、38億8百万円(前期は2億88百万円の使用)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益が34億46百万円、その他の資産・負債の増減額26億81百万円の収入等があったものの、売上債権の増加52億19百万円、棚卸資産の増加23億5百万円、未収入金の増加11億35百万円、仕入債務の減少11億6百万円による支出等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は、76百万円(前期は2億84百万円の使用)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出66百万円、無形固定資産の取得による支出15百万円等があったものの、有形固定資産の売却による収入1億90百万円の収入等があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は、31億75百万円(前期は17億66百万円の使用)となりました。これは主に短期借入金の返済による支出78億54百万円、自己株式の取得による支出25億63百万円、配当金の支払13億53百万円の支出等があったものの、短期借入による収入149億85百万円等があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間までの業績等を踏まえ、2022年5月16日公表の2023年3月期連結業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日公表の「通期連結業績予想の修正、剰余金の配当(中間配当)及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日) |
|----------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 10,710 | 10,864 |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | 31,307 | 37,918 |
| 商品及び製品 | 29,189 | 33,062 |
| 仕掛品 | 28 | 46 |
| 未収入金 | 10,895 | 11,294 |
| その他 | 246 | 221 |
| 貸倒引当金 | △7 | △8 |
| 流動資産合計 | 82,370 | 93,398 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 810 | 708 |
| 無形固定資産 | 513 | 450 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 3,106 | 3,170 |
| 繰延税金資産 | 193 | 190 |
| その他 | 1,958 | 1,177 |
| 貸倒引当金 | △1 | △0 |
| 投資その他の資産合計 | 5,256 | 4,538 |
| 固定資産合計 | 6,580 | 5,697 |
| 資産合計 | 88,951 | 99,095 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 17,324 | 17,070 |
| 電子記録債務 | 1,978 | 2,317 |
| 短期借入金 | 7,444 | 14,670 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | — | 1,000 |
| 未払法人税等 | 1,103 | 1,000 |
| 未払金 | 1,705 | 3,602 |
| 賞与引当金 | 623 | 745 |
| 役員賞与引当金 | 72 | 52 |
| その他 | 1,239 | 1,326 |
| 流動負債合計 | 31,492 | 41,785 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 3,800 | 2,800 |
| 繰延税金負債 | 209 | 353 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 4 | — |
| 役員株式報酬引当金 | 88 | 105 |
| 従業員株式報酬引当金 | 186 | 249 |
| 退職給付に係る負債 | 869 | 855 |
| その他 | 355 | 409 |
| 固定負債合計 | 5,513 | 4,774 |
| 負債合計 | 37,005 | 46,559 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 9,501 | 9,501 |
| 資本剰余金 | 9,599 | 9,599 |
| 利益剰余金 | 31,225 | 32,140 |
| 自己株式 | △1,286 | △3,850 |
| 株主資本合計 | 49,039 | 47,390 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 826 | 866 |
| 繰延ヘッジ損益 | 4 | 2 |
| 土地再評価差額金 | △50 | △61 |
| 為替換算調整勘定 | 1,547 | 3,696 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 2 | 5 |
| その他の包括利益累計額合計 | 2,329 | 4,510 |
| 非支配株主持分 | 575 | 634 |
| 純資産合計 | 51,945 | 52,536 |
| 負債純資産合計 | 88,951 | 99,095 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 58,590 | 89,449 |
| 売上原価 | 53,376 | 81,468 |
| 売上総利益 | 5,214 | 7,981 |
| 販売費及び一般管理費 | 4,081 | 4,806 |
| 営業利益 | 1,132 | 3,174 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 14 | 5 |
| 受取配当金 | 42 | 54 |
| 仕入割引 | 3 | 4 |
| 為替差益 | — | 191 |
| 雑収入 | 23 | 57 |
| 営業外収益合計 | 84 | 312 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 22 | 66 |
| 為替差損 | 46 | — |
| 自己株式取得費用 | — | 10 |
| 雑支出 | 2 | 1 |
| 営業外費用合計 | 70 | 78 |
| 経常利益 | 1,145 | 3,408 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | — | 39 |
| 投資有価証券売却益 | 33 | — |
| 特別利益合計 | 33 | 39 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 0 | 1 |
| 特別損失合計 | 0 | 1 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,178 | 3,446 |
| 法人税等 | 358 | 1,130 |
| 四半期純利益 | 820 | 2,315 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 19 | 49 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 800 | 2,266 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 820 | 2,315 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △272 | 40 |
| 繰延ヘッジ損益 | 0 | △1 |
| 為替換算調整勘定 | 216 | 2,159 |
| 退職給付に係る調整額 | △0 | 3 |
| その他の包括利益合計 | △56 | 2,201 |
| 四半期包括利益 | 764 | 4,516 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 743 | 4,457 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 20 | 59 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,178 | 3,446 |
| 減価償却費 | 154 | 162 |
| のれん償却額 | 6 | 6 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | 0 | △1 |
| 役員賞与引当金の増減額 (△は減少) | △16 | △19 |
| 役員株式報酬引当金の増減額 (△は減少) | △2 | 17 |
| 従業員株式報酬引当金の増減額 (△は減少) | 11 | 62 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | 44 | 120 |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | △44 | △10 |
| 受取利息及び受取配当金 | △56 | △59 |
| 支払利息 | 22 | 66 |
| 有形固定資産除売却損益 (△は益) | 0 | △37 |
| 投資有価証券売却損益 (△は益) | △33 | — |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 1,069 | △5,219 |
| 未収入金の増減額 (△は増加) | 124 | △1,135 |
| 棚卸資産の増減額 (△は増加) | △5,384 | △2,305 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 2,409 | △1,106 |
| 未払消費税等の増減額 (△は減少) | 284 | 830 |
| その他の資産・負債の増減額 | △69 | 2,681 |
| その他非資金取引 | △72 | △224 |
| 小計 | △370 | △2,725 |
| 利息及び配当金の受取額 | 54 | 59 |
| 利息の支払額 | △23 | △54 |
| 法人税等の支払額 | 52 | △1,088 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △288 | △3,808 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 投資有価証券の取得による支出 | △205 | △6 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 199 | — |
| 有形固定資産の取得による支出 | △92 | △66 |
| 有形固定資産の売却による収入 | — | 190 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △67 | △15 |
| その他投資資産の取得による支出 | △125 | △33 |
| その他投資資産の売却・解約による収入 | 7 | 9 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △284 | 76 |

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) |
|----------------------|---|---|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入れによる収入 | 277 | 14,985 |
| 短期借入金の返済による支出 | △1,149 | △7,854 |
| 長期借入れによる収入 | 2,500 | — |
| 長期借入金の返済による支出 | △2,500 | — |
| 自己株式の取得による支出 | — | △2,563 |
| リース債務の返済による支出 | △38 | △38 |
| 配当金の支払額 | △756 | △1,353 |
| 非支配株主への配当金の支払額 | △100 | — |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △1,766 | 3,175 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 135 | 679 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △2,203 | 123 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 17,596 | 10,579 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 15,393 | 10,702 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|------------|-------------|------------|--------|--------------|--------------------------------|
| | 電子部品 事業 | アセンブリ 事業 | その他の 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 51,182 | 5,894 | 1,514 | 58,590 | — | 58,590 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 51,182 | 5,894 | 1,514 | 58,590 | — | 58,590 |
| セグメント利益 | 2,024 | 77 | 42 | 2,144 | △1,011 | 1,132 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,011百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,011百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門経費及び共通経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|------------|-------------|------------|--------|--------------|--------------------------------|
| | 電子部品 事業 | アセンブリ 事業 | その他の 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 80,087 | 7,416 | 1,945 | 89,449 | — | 89,449 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 80,087 | 7,416 | 1,945 | 89,449 | — | 89,449 |
| セグメント利益 | 4,138 | 27 | 83 | 4,249 | △1,075 | 3,174 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,075百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,075百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門経費及び共通経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。